子どもの育ち、みんなで支えよう

発達支援体制を充実

市では、一人ひとりの健康と発達を支援するため、保健・福祉、医療・教育などの関係機関が子どもの健やかな成長と発達を支援するとともに、支援内容検討チーム（左下記事参照）として専門的に巡回・助言を行うなど、みんなで子どもを支える仕組みが作られました。

このたび、子供たちの成長と発達の支援を担う中心施設として、舞鶴こども支援機関「さくらんぼ園」が余部上地区に移転し新たに開園、発達支援に取り組むスタッフや利用者の声、市の施策について紹介します。

早期発見の観点から

1歳6か月児健診を充実

問診や身体計測、小児科、歯科診察や発達の様子、栄養状態や食事・むし歯の状況などを見る従来の1歳6か月健診に加え、対人関係の様子を把握するため、M-CHAT（エム・チャット）という質問紙（下図）を取り入れています。

※M-CHAT：Modified Checklist for Autism in Toddlers の略語。米国で開発された幼児用自閉症スクリーニングテスト。23項目の質問で24月齢の子供にチェックを行う。

早期支援の観点から

発達相談

1歳6か月児健診後の相談

児童精神科医と臨床心理士による発達相談を実施し、子どもの発達面の課題に応じた適切な支援について助言します。

フォロー教室

このびのび教室（下くすく）教室では、保護者が体を使ったまぎまな遊びを通して、子どもとの接し方や遊び方を学ぶことにより、子どもの力を伸ばす

保護者と関係機関が協力して子どもを支援

保育所・幼稚園巡回

1歳6か月児健診の結果などをもとに、専門のスタッフが保育所と幼稚園を巡回し、支援が必要と考えられる子どもの集団生活の状況などを把握し、個々に応じた幼稚園内の保育環境や支援方法について検討・助言します。

保育所では、巡回の結果を踏まえた保育士の加配置や子どもの特性・発達面の課題を的確に把握するための技術習得、研修などの取り組みを進めています。

早期支援の観点から

子どものほめ方教室

かかわり方が できるように 支援します。

1歳6か月児健診の結果から、専門のスタッフが保育所と幼稚園を巡回し、支援が必要と考えられる子どもの集団生活の状況などを把握し、個々に応じた幼稚園内の保育環境や支援方法について検討・助言します。

保育所では、巡回の結果を踏まえた保育士の加配置や子どもの特性・発達面の課題を的確に把握するための技術習得、研修などの取り組みを進めています。

【M-CHAT の質問事項】

1	お子さんをブランコのように揺らしたり、ひざの上で揺すると喜びますか
2	他の子どもに興味がありますか
3	階段など、何かの上にはいあがることが好きですか
4	イナイイナイがやってを喜びますか
5	電話の受話器を耳にあててしゃべるまねをしたり、人形やその他のモノを使ってごっこ遊びをしますか
6	何か欲しいモノがある時、指をさして要求しますか
7	何か に興味を持った時、指をさして伝えようとしますか
8	車や積木などのおもちゃを、口に入れたり、さわったり、落としたりする遊びではなく、おもちゃに合った遊び方をしますか
9	あなたに見て欲しいモノがある時、それを見せに持ってきますか
10	1、2秒より長く、あなたの目を見つめますか
11	ある種の音に、とくに過敏に反応してイライラ棒にはなりますか（耳をふさぐなど）
12	あなたと顔があったり、あなたが笑いかけると、笑顔で反応しますか
13	あなたのすることをまねしますか（たとえば、口をとがらせてみせると、顔まねをしようとしますか）
14	あなたが名前を呼ぶと、反応しますか
15	あなたが部屋の離れた所にあるおもちゃを指でさすと、その方向を見ますか
16	歩きますか
17	あなたが見ているモノを、一緒に見ますか
18	顔の近くで指をひらひら動かすなどの変わった癖がありますか
19	あなたの注意を、自分の方に引こうとしますか
20	耳が聞こえないのではないかと心配されたことがありますか
21	言われた言葉をわかっていますか
22	何もない宙をじーっと見つめたり、目的なくひたすらうろうろしますか
23	いつもと違うことがある時、あなたの顔を見て反応を確かめますか
24	あなたの言った言（マママ、ブブブなど）をまねをしますか

一貫した支援の観点から

発達支援ファイルを配布中

個別のサポートを継続的かつ効果的に行うため、支援が必要とされる子どもの保護者に発達支援ファイルを配布しています。

▲子どもの成長を継続的に記録

同ファイルは、保護者が子どもの成長過程や保育・活動の様子を記録し、保護者と関係機関が一体となって子どもの成長段階を把握することができます。

進学先へ情報が引き継がれ継続的な支援を行うことができます。

個別の教育支援計画

支援が必要とされる子どもの一人ひとりのニーズを把握し、就学後から卒業まで一貫した支援を行うことを目的として策定する計画です。

各学校の特別支援教育コーディネーター担任が中心となり、子どもや保護者の意向を踏まえ、関係機関と連携して支援内容を考えます。また、子どもの成長と発達の段階に応じて計画を見直したり、進学先の学校へ引き継ぎなどにも活用します。舞鶴養護学校やすべての市立小・中学校で取り組んでいます。

発達支援の中心施設として さくらんぼ園が開園

5月24日、余部上地区にくらんぼ園が開園しました。舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」が開園しました。これまで母除センター内で

さくらんぼ園

新園長となったさくらんぼ園長・大泉利曜さんは、「地域・総合支援型児童発達センター」「リハビリテーション」「ライフ・ケア」「ペアレンス室を整備（右）」

支援内容検討チーム

発達支援が必要な子どもの家族にとっては、何々園が良いのか、どこが大きな子や小さな子が多いのか、こういった家族への支援は、保護者をはじめ、保健・福祉・医療・教育などすべての関係機関が

さくらんぼ園園長・大泉利曜さん

さらなる資質向上へ

みんなで支えていくことが重要です。

このたび、さくらんぼ園の施設環境が充実し、専門的な遊び・体験の向上と期待です。

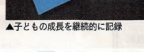
今後も支援内容検討チームの四者としてさらに支援の資質向上を図り、保育所や幼稚園・小学校などと連携しながらしっかりとその一翼を担っていきます。

インタビュー

継続したサポート体制の充実を

利用をはじめた当初、その第一歩として、小学校への入学があります。ゆっくりと時間の流れを感じながら、子どもと同じペースで、一歩一歩、成長してほしいです。その先には、イライラ棒にふれ合う体験制の充実や、保護者をふまえた支援が必要なこと。発達支援が必要な子どもそうでない子ども交流できる場がもっとあればいいと思います。

（利用者より）



▲子どもの成長を継続的に記録

支援内容検討チーム

支援内容検討チームは、保護者や保育所、幼稚園の先生のかかわりかたなど）に、発達支援の巡回や助言などを行います。

児科医などの意見も聞きながら、支援が必要な子どもに対する適切な支援内容を検討します。

また、専門機関への紹介や進学先への情報の引き継ぎなど総合的に支援します。

主に支援が必要とされる就学前の子どもを対象に、発達支援の巡回や助言などを行います。

言語聴覚士、臨床心理士、保健師などの専門スタッフが、保育所（園）や幼稚園、子どもの家庭を訪問。子どもの成長と発達を見守ります。

言語聴覚士、臨床心理士、保健師などの専門スタッフが、保育所（園）や幼稚園、子どもの家庭を訪問。子どもの成長と発達を見守ります。

実施していた身の周りの日常生活をはじめ、社会性、学習面で支援が必要な子どもの療育などの機能を移転、新たに開設しました。

施設内には個別指導室やスヌーズレン室（完全暗室）、ライトルーム（光刺激装置）、ボルタ（電気刺激装置）、ディサービス、舞鶴養護学校小学部分室が設置されています。子どもの発達に応じた相談支援事業の実施など、ハード・ソフト面ともに充実しました。

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」	☎64・5798	成長や発達に支援が必要な子どもに週1回程度、日常生活や対人面について、具体的な療育指導などを行います。また、これまでの療育実績を生かして、子どもの発達年齢に応じた適切な支援や助言、相談も行います。
舞鶴養護学校特別支援教育トータルサポートセンター	☎78・3133	障害のある幼児、児童・生徒について、本人や保護者の意向を踏まえ、継続した相談・支援を行います。
舞鶴こども療育センター	☎63・4865	府内唯一の総体不自由児施設。発達の遅れや身体に障害のある子どもの療育施設で医師やリハビリスタッフなどによる診察と療育を行います。※医療施設のため、保険証の提示と診察料が必要となります。
通級指導教室	倉梯小学校	☎64・0227	言葉や情緒面などに課題を持つ児童が通級。隔週または週1・2回、少人数のグループや個別で学習します（45分程度）。他校からの通級も可能。ただし、保護者の付き添いが原則となります。
	明倉小学校	☎75・5562	
	白糸中学校	☎62・3563	クラスと切別のサポート教室で専任の担当教師が2つ、子どもの特性に応じた個別の内容や方法で学習します。中学校では市内唯一の通級指導教室で、他校からの通級も可能です。
中丹東保健所	☎75・0806	小児科医などによる乳幼児の精神面・身体面の発達についての相談や健診、臨床心理士による子育ての悩みなどに応じるカウンセリングを行います。また、特定疾患および小児慢性特定疾患の医療に関する窓口。
保健センター	☎65・0065	健診を通して疾病や発達支援が必要な子どもの早期発見に努めるとともに、その後の支援情報を行います。
子ども支援課	☎66・1094	国の制度に基づく各種手当をはじめ、障害者自立支援法に基づくサービスなどの窓口。子どもの発達支援事業を推進し、相談も実施します。

発達支援に関する関係機関

発達支援に関する問い合わせは、子ども支援課（☎66・1094）へ。